

令和 3年度 事務事業評価表（個票）

課名 教育推進部文化財課

作成日 令和 4年 8月 5日

概要	施策名	文化財		基本目標	未来につながる人材を育むまち							
	施策の目的	市民が郷土の伝統や歴史に対する理解を深め、郷土への愛着心を高めるとともに、無形民俗文化財や文化財を後世に継承すること。										
施策の方向		文化財の環境整備と活用										
令和 3年度 の評価	今後の方向性 (改善措置等)	<input type="checkbox"/> 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	山中城跡保存活用計画の策定、山中城跡の災害復旧、向山古墳群の調査、郷土資料館での主催事業など複数の項目で災害、コロナ禍、他の業務量の増大といった要因による計画の遅延が見られた。									
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善	コロナ禍については、ある程度の流行を前提に感染症対策を行い、事業計画を立てるようになる。その他の遅延している事業については全体の業務量増大が原因になっているものもある。令和4年度も遺物保管場所の引っ越しや全史協事務局の全国的な行事など前年度までにはなかった業務があるため、全体的な業務見直しや効率化により少しずつ目標に近づけていくこととする。									
No.	事務事業名	活動内容				コスト（事業費：千円）						
1	史跡山中城跡維持管理事業	活動指標名	単位	令和 2年度 実績	令和 3年度 計画	令和 3年度 実績	令和 4年度 計画	令和 2年度 決算	令和 3年度 当初予算	令和 3年度 決算	令和 4年度 当初予算	
	全体事業概要		維持管理活動日数	日		207	219	207	0	28,770	17,425	30,696
	国指定史跡山中城跡は平成18年に日本百名城にも選定され、郷土の誇る文化財として良好に維持保存していくため、公園内の樹木刈込みや張芝の手入れ等、維持管理を行うもの。維持管理事業の一部に充当することを目的に、ガバメントクラウドファンディングを活用して寄附金を広く募る。		①									
			②									
			③									
			令和 3年度 の評価		<input type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし 継続的に実施している芝生の手入れ、雑木雑草の除去等の史跡の維持管理を実施した。また、ガバメントクラウドファンディングにより101件、596千円の寄附を得て経費の一部に充当した。							
事業区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他		今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 今後も安全面や周辺地域への配慮、景観の維持に努め、史跡を次世代へ継承すべく、適正な維持管理を継続していく。								
計画対象	<input type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象											
No.	事務事業名	活動内容				コスト（事業費：千円）						
2	史跡山中城跡保存活用計画策定事業	活動指標名	単位	令和 2年度 実績	令和 3年度 計画	令和 3年度 実績	令和 4年度 計画	令和 2年度 決算	令和 3年度 当初予算	令和 3年度 決算	令和 4年度 当初予算	
	全体事業概要		計画の策定	個		1	0	1	0	2,286	0	0
	山中城跡を次世代へ継承するため、保存管理方法、現状変更など許可に関する取扱い基準、公有化・整備・公開・追加指定などに関する将来像、運営方法及び整備体制などを明文化し、保存管理の方針、整備活用のあり方をまとめた保存活用計画を策定する。		①									
			②									
			③									
			令和 3年度 の評価		<input type="checkbox"/> 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし 令和3年度中に計画策定を完了させるはずであったが、7月の大雨による史跡内の被災を受け、新規に排水路を設置することとなり、保存管理の方法を見直す必要が生じた。そのため、計画策定期間を1年延長した。また、専門家による検討委員会を2回開催する予定であったが開催することができなかった。							
事業区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他		今後の方向性 (改善措置等)	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 令和4年度中に排水路の設置を反映させた計画案を作成する。また、検討委員会を2回開催し、専門家の意見を反映させる。その上で計画策定を完了し、この計画に従って令和5年度以降の史跡の維持管理や整備を進めていく。								
計画対象	<input type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象											

※決算額については、端数処理により、他資料の決算額と差異が生じている場合もあります。

令和 3年度 事務事業評価表（個票）

課名 教育推進部文化財課

作成日 令和 4年 8月 5日

概要	施策名	文化財		基本目標	未来につながる人材を育むまち									
	施策の目的	市民が郷土の伝統や歴史に対する理解を深め、郷土への愛着心を高めるとともに、無形民俗文化財や文化財を後世に継承すること。												
施策の方向		文化財の環境整備と活用												
令和 3年度 の評価	今後の方向性 (改善措置等)	<input type="checkbox"/> 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	山中城跡保存活用計画の策定、山中城跡の災害復旧、向山古墳群の調査、郷土資料館での主催事業など複数の項目で災害、コロナ禍、他の業務量の増大といった要因による計画の遅延が見られた。											
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善	コロナ禍については、ある程度の流行を前提に感染症対策を行い、事業計画を立てるようにする。その他の遅延している事業については全体の業務量増大が原因になっているものもある。令和4年度も遺物保管場所の引っ越しや全史協事務局の全国的な行事など前年度までにはなかった業務があるため、全体的な業務見直しや効率化により少しずつ目標に近づけていくこととする。											
No.	事務事業名	活動内容				コスト（事業費：千円）								
3	向山古墳群整備活用事業	活動指標名	単位	令和 2年度 実績	令和 3年度 計画	令和 3年度 実績	令和 4年度 計画	令和 2年度 決算	令和 3年度 当初予算	令和 3年度 決算	令和 4年度 当初予算			
	全体事業概要		①	計画の策定数	個		0	0		0	319	297	319	
	向山古墳群の史跡としての価値と魅力を高め、市民の史跡に対する意識の醸成や観光誘致につなげるため、国指定史跡を目指すとともに、景観保全を図る。		②	委員会開催回数	回		3	0	3					
			③											
			令和 3年度 の評価		<input type="checkbox"/> 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし           16号墳の草刈り業務や国指定に向けた発掘調査1回を実施した。整備検討委員会の開催については、コロナ禍により検討委員を集めることが困難な時期があったこと、開発に伴う確認調査の件数が例年以上に増加したため古墳の発掘調査に十分な期間が取れなかったことなどにより、開催することができなかった。									
	事業区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他		今後の方向性 (改善措置等)		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止           令和4年度も草刈りなどの維持管理と16号墳の発掘調査を行い、また、新型コロナウイルスの流行状況を確認したうえで委員会を開催する。以上により国指定への格上げと史跡の保存活用計画策定の準備を進める。								
	計画対象	<input type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象												
						令和 5年度の優先度								
						<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D								
No.	事務事業名	活動内容				コスト（事業費：千円）								
4	郷土資料館企画展示事業	活動指標名	単位	令和 2年度 実績	令和 3年度 計画	令和 3年度 実績	令和 4年度 計画	令和 2年度 決算	令和 3年度 当初予算	令和 3年度 決算	令和 4年度 当初予算			
	全体事業概要		①	講座、講演会等主催事業の開催	回		50	39	50		0	5,299	5,321	8,471
	資料の収集・保存・展示、企画展の実施、企画展関連事業・体験講座の実施、図録・史料集等の刊行、所蔵資料データベースの整備による情報発信など、所蔵する文化財の活用を進める。		②	館資料データベースへの登録件数	件		400	471	200					
			③											
			令和 3年度 の評価		<input type="checkbox"/> 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし           コロナ禍及び天候不順により予定していた講座を21回中止しており目標達成は出来なかった。									
	事業区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他		今後の方向性 (改善措置等)		<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止           ②について、大量寄贈がある一方で職員数の減少から登録処理が追いついていない現状がある。寄贈資料の調査可能なボランティアを養成し、その後ボランティアと協働で寄贈資料の登録作業にあたることで処理件数の向上に努めたい。								
	計画対象	<input type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象												
						令和 5年度の優先度								
						<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D								

※決算額については、端数処理により、他資料の決算額と差異が生じている場合もあります。

令和 3年度 事務事業評価表（個票）

課名 教育推進部文化財課

作成日 令和 4年 8月 5日

概要	施策名	文化財		基本目標	未来につながる人材を育むまち								
	施策の目的	市民が郷土の伝統や歴史に対する理解を深め、郷土への愛着心を高めるとともに、無形民俗文化財や文化財を後世に継承すること。											
施策の方向		文化財の環境整備と活用											
令和 3年度 の評価	今後の方向性 (改善措置等)	令和 3年度 の評価	<input type="checkbox"/> 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし										
		今後の方向性 (改善措置等)	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善										
No.		事務事業名	活動内容				コスト（事業費：千円）						
5	郷土資料館管理運営事業		活動指標名	単位	令和 2年度 実績	令和 3年度 計画	令和 3年度 実績	令和 4年度 計画	令和 2年度 決算	令和 3年度 当初予算	令和 3年度 決算	令和 4年度 当初予算	
	全体事業概要												
	資料の保存環境を維持し、来館者の安全を確保するため、郷土資料館の適切な維持管理に努める。館内の清掃、設備の保守、施設・設備の修繕を行う。		①	開館日数	日		310	272	302	0	4,669	4,637	4,006
			②										
			③										
			令和 3年度 の評価		<input type="checkbox"/> 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし								
			今後の方向性 (改善措置等)		<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止								
事業区分		<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他		十分な感染症対策を行うことで、来館者の安全を確保し、施設の管理運営に努める。									
計画対象		<input type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象											
No.		事務事業名	活動内容				コスト（事業費：千円）						
6	文化財災害復旧事業		活動指標名	単位	令和 2年度 実績	令和 3年度 計画	令和 3年度 実績	令和 4年度 計画	令和 2年度 決算	令和 3年度 当初予算	令和 3年度 決算	令和 4年度 当初予算	
	全体事業概要												
	令和元年10月12日の台風19号によって被災した国指定史跡山中城跡を3ヶ年の計画で国・県の補助を受けて復旧工事を実施する。		①	復旧完了箇所数	箇所		2	0	2	0	0	0	0
			②										
			③										
			令和 3年度 の評価		<input type="checkbox"/> 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし								
			今後の方向性 (改善措置等)		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止								
事業区分		<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他		令和2年までに被災した8箇所のうち5箇所で工事に着手し、令和3年度は3箇所で着手した。しかし、令和3年7月の大雨により復旧が完了した箇所も含めて再度被災したため工事を中止した。被害を繰り返さないために排水路を新規に設置するなどの対策をとることとし、復旧工事の計画を変更した。									
計画対象		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象		令和4年度に排水路設置のための測量・設計および工事をし、さらに被災箇所の復旧に向けた測量設計業務を行う。									

※決算額については、端数処理により、他資料の決算額と差異が生じている場合もあります。